

日光中、中宮祠小が優勝

関東チビツ子アイスホッケー大会

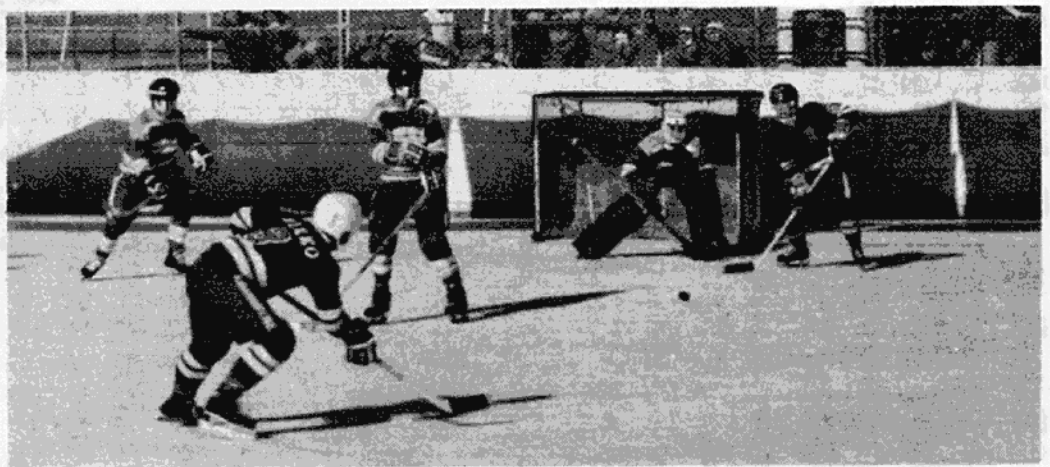
第四回関東ブロックチビツ子アイスホッケー競技大会が、二月三日・四日の二日間、古河リンクと細尾リンクで開かれました。

参加したチームは、品川ジュニアクラブなどの東京勢が四チーム、群馬からは伊香保スポーツ少年団の二チーム、宇都宮から一チーム、地元日光からは東中や清滝小など七チームでした。小学校、中学校の部とも七チームとなり、計十四チームで熱戦を展開しました。小学校の部は、清滝小が品川ジュニアクラブに4-3で惜しくも負けましたが、他の地元チームは

順当に勝ち進みました。決勝戦は昨年優勝した中宮祠小と日光小の対戦でしたが、接戦の末2-1で中宮祠小が二連勝を飾りました。

中学校の部では地元日光勢がすばらしい活躍を見せ、観客を沸かせました。準決勝で中宮祠中は、昨年優勝した品川ジュニアクラブに3-2で辛勝。また、日光中は伊香保スポーツ少年団を17-0で圧勝、準決勝で東中を10-1で下し、決勝戦でも中宮祠中を8-1で破り、二回目の優勝を成し遂げました。

中学校の決勝戦



各種大会

- ◎ 第三回関東高校スケート競技選手権大会
- ▽ 優勝 日光高校
- ◎ 第七回日光市長杯争奪学童アイスホッケー大会兼市内中学校・県下高校アイスホッケー大会
- 〔小学の部〕▽ 優勝 日光小
- ▽ 準優勝 中宮祠小
- 〔中学の部〕▽ 優勝 日光中
- ▽ 準優勝 中宮祠中
- 〔高校の部〕▽ 優勝 日光高校
- ▽ 準優勝 今市高校
- ◎ 第十一回古河金属所長杯青少年アイスホッケー大会
- 〔小学の部〕▽ 優勝 中宮祠小
- ▽ 準優勝 清滝小
- 〔中学の部〕▽ 優勝 日光中
- ▽ 準優勝 中宮祠中
- 〔高校の部〕▽ 優勝 日光高校
- ▽ 準優勝 今市高校

日本の青少年の特徴は？

53年版
青少年白書から…

総理府がまとめた五十三年版の「青少年白書」によると、「日本の青少年は、おおむね家庭生活に満足しており、両親と意見対立のある者が少なく、また年老いた親と同居しながら面倒をみたくして「いる」など、一般的に家庭生活がうまくいっていることを指摘しています。その中から、諸外国との

家庭 七割が年老いた親との同居を肯定

比較で、興味のある点を、いくつか紹介してみよう。

各国の青年とも八〇%以上が、家庭生活に満足。諸外国と違うのは、同居についてで、日本の青年は「同居がよい」七〇%に対し、アメリカ、西ドイツの青年の七〇%が「同居反対」。

学習 卒業後の学習意欲がおう盛

義務教育後の高校(約九三%)

親しい友人 友だちは大部分が同性

大学等(三八%)の進学率は、アメリカ(大学等で四五%)について高水準。卒業後の学習意欲は、ブラジルについて高く、学びたい理由は「趣味や余暇に役立つ知識や技術を習得するため」が諸外国より多い。

各国とも八〇%以上が、親しい友人をもっている。日本の特徴は、親しい友人のほとんどが同性で異性の友人が少ない。また、日本の青年は、街の中や旅先など多様な

仕事 能力主義より年功序列を望む

場面で友人を作るより、学校や職場などに限られた場で友を得ている

欧米では男女とも「能力主義」が約七〇%で、「年功序列」は一〇%台。日本の青年は「能力主義」三二%、「年功序列」が四六%、特に女子は過半数。自分の職場に満足している者は、日本六〇%、欧米七五%。また、生がいについて、日本が「仕事以外の生活」五割「仕事」三割に対して、欧米では「仕事以外」が七割「仕事」は二割。

価値観 日常生活での心がけは「周囲の人に迷惑をかける」こと

社会に対する「満足度」は、日本三五%、アメリカ六〇%、イギリス四八%、西ドイツ七九%。しかし七年前(昭和四十七年)の調査より「満足傾向」は九%ふえ、「不満足傾向」は一六%減

暮らし方については「経済的に豊かになりたい」「日常生活の心がけでは「周囲の人に迷惑をかける」が、それぞれ諸外国に比べて際立って多いのが注目されます。

国際児童年のスローガン

内閣総理大臣賞



国際児童年1979

わが子への愛を世界のどの子にも